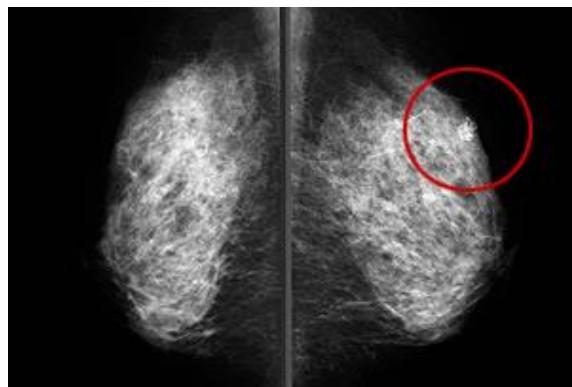


## マンモグラフィ検診



乳がんは、早期に発見できれば、乳房を温存するなど自分の希望する手術法や治療法を医師と相談して選択できる可能性が高まります。また、入院期間や再発防止の治療期間など短いので経済的負担も軽く済みます。当院では認定講習を修了した専門の診療放射線技師がマンモグラフィシステムを適切に管理し、高品質な画像を提供できるよう努めております。また、乳がんの早期発見には、みなさまの継続した検診の受診が必要です。マンモグラフィ検診をリラックスして受けていただけるよう、次回も受けようを思っただけけるよう、スタッフ一同心がけております。

## マンモグラフィ検査



頭尾の方向から撮影

斜め側方から圧迫し撮影

更衣から撮影終了まで10分ぐらいです。

### 検査の注意点

- ・制汗剤・パウダーは病変と似たうつり方をすることがありますので、検査当日に使用は避けてください。
- ・生理前に乳房が張るかたは、圧迫時に痛みが増す場合があります。このような方は比較的やわらかい時期に検査を受けられることをお勧めします。(生理開始後1週間くらいが目安です)
- ・髪の毛も写りますので、横に垂れないようにしてください。(髪留めをご用意しています。)

### なぜ圧迫した状態で撮影するのでしょうか

- ①乳腺と病変部の重なりを少なくし、病変部を鮮明に写し出します！
- ②乳房を固定することで、写真のブレを防止します！
- ③X線の被曝線量が少なくなります！

圧迫による痛みを少しでも和らげるために、「体の力を抜く」ようご協力お願いします

## マンモグラフィ検診ができない方

- V-Pシャント施行者

V-Pシャントカテーテルの破損の恐れがあります。(マンモグラフィ検査は乳房全体を圧迫して撮影するため、カテーテルを挟む恐れがあり、受診者の安全を保障することができません。)

- ペースメーカー装着者

ペースメーカーが破損する恐れがあります。  
ペースメーカーやリード線が設定位置からズレる恐れがあります。(乳腺を引き出したり広げたりという過程でペースメーカーを挟み込む恐れがあり、受診者の安全を保障することができません。)

- 豊胸術実施者（シリコンバッグの場合）

シリコンバッグの劣化や撮影の過程で、シリコンバッグの破損、あるいは当初入れた部位とは大きく異なる部位へ移動する恐れがあり、受診者の安全を保障することができません。

- 妊娠中のかた



三島市乳がん検診（40歳以上で前年度受診していない方）

	自己負担（69歳以下）	自己負担（70歳以上）
40歳～50歳	1500円	
51歳以上	1200円	500円

予約制 月曜～金曜日の午前中 水曜日の午後

ドックなどほかの検診と合わせて三島市の検診を受けることも可能です。

健康管理センター

TEL 055-975-8841

